

# 城陽市障がい者自立支援協議会

## 第 12 回 聴覚言語障がい支援部会報告書

報告者 部会長 聴覚障害者生活支援センター は一もにい 山崎 伸治

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 24 (2012) 年 12 月 18 日 午前 10 時～12 時
場 所	福祉センター 第 2 会議室
出 席 者	城陽市福祉課 相談支援事業所 は一もにい 手話通訳者の会・要約筆記奉仕委員会・手話サークル・要約筆記サークル 城陽ろうあ協会・城陽市難聴者協会
検討課題	支援マップ試作版の評価

### 【議事録】

#### 1. 支援マップ試作版について (意見)

①表紙 これが良い。写真が文化パークなのが良い

#### ②避難所

・避難所に関する注記が「第 3 段階」の囲みの中に 1 箇所にしかなくわかりにくい。

「第 1 段階」「第 2 段階」にも同様に掲載するのが良い。

・市のホームページに避難所開設のお知らせが第 2 段階までは広報車とホームページと書いてある。聞こえなくてインターネットやメールを見られない人への連絡方法は登録制にして FAX で送信するのはどうか

⇒市内在住で手帳所持している聴覚障がい者が全員登録すると 320 人以上。FAX の場合、最初に送信した人と、最後に送信した人では随分時間がかわってくる、「FAX が来ていないから安全」と思い家で待っていると、避難が遅れる危険性がある。また夜間や休日では職員が市役所まで駆けつけるのに時間がかかり、すぐに送信ができない場合もある。同様に避難が遅れるなどの課題がある。現状では地域で近所の人と日頃から関係を築き、いざという時に知らせてくれて一緒に避難するのがベストではないかと思われた。

(※災害時要配慮者の登録制度や聴覚障がい者専用の消防署への登録制度はある)

#### ③災害時の情報発信、登録について

・は一もにいの情報発信の登録方法を登録者が簡単にできる方法にならないか。

⇒システムの問題。現在業者と相談している。

・携帯害者のエリアメール、災害伝言ダイヤルについての情報も載せる。

#### ④その他

- ・避難場所の地図は市の発行している防災マップのデータがもらえれば掲載する。
- ・防災マップには地震編と水害編があり、水害編には浸水想定地域（JR 奈良線の西側）が色分けされているが、市のホームページに掲載の「避難所」は水害時の避難所は特に記されていない。・支援マップにはどう掲載するのが良いか。
- ・イラスト、カットはインターネットでフリー素材を探す。見つからなければ他の方法を考える。

今回出た意見は次回までに修正する。他にも追加や修正が必要な箇所があれば次回持ち寄ること。

#### 2. その他

2月に大阪（ビックアイ）で『災害時視聴覚障がい者支援ボランティアリーダー養成研修』がある。この部会から誰か参加してはどうか？詳細は次回部会でお知らせする。